

チキ6000ストラクチャデータ 取扱説明書



<はじめに>

此のデータは、国鉄チキ 6000 型式を模したストラクチャデータです。

データ製作の都合上、JR 四国多度津駅常備のチキ 6000 がモデルとなっております。

あくまでも'それっぽい'データです。物足りないと感じる方は使用をご遠慮ください。

<ファイル内訳>

tiki6000 -Texture(各モデルで参照しているテクスチャ)
tiki6000.x(車体)
tiki6_XXXX.x(各車番差分)
tiki6_kusya.x(締結装置 空車差分)
tiki6_sekisyu.x(締結装置 積車差分)
tiki6_unit.x(締結装置なし 締結装置有の車とのユニット用)
tiki6_sakutyu.x(柵柱差分)
tiki6_rail.x(50N 25m×25 本)
TR63F.x(TR63F 台車)
tiki6_end_f.x(反射板 前側差分)
tiki6_end_r.x(反射板 後側差分)

<他列車配置>

本データでは、台車中心が原点となっております。

車体の各部寸法ですが、前後連結器中心間距離が 14.70m、前後台車間距離が 10.45m です。
台車は台車ワク中心が原点となっており、車軸間距離は 1.75m です。

締結装置差分・柵柱・車番・後部標識の各差分については、車体本体と同じように原点が前側台車の中心となるように出力しておりますので、車体本体と同じ座標に置いてください。

レール及び積車差分を用いて、積車状態を再現することもできますが、BVE でレールを線路に沿って曲げる事は大変手間が掛かると思われるため、停車中のみ再現しています。

ユニット前側の tiki6000.x と同じ座標に tiki6_sekisyu.x 及び tiki6_rail.x を置くと、2 両でユニットを組んだ際に丁度良い位置になります。

<注意>

無断転載、BVE5 及び 6 以外での使用を禁じます。

BVE5 及び 6 の路線データに組み込む用途に限り使用及び二次配布を許可します。

当方、BVE でのデータ製作はあくまでも現実を再現するものだと考えております。

あまりに現実からかけ離れたものや、事故再現等はおやめください。

当データを使用した路線を公開する場合は一言 kyu-roku の方に連絡をお願いします。

路線に配置した SS、動画の投稿は、当方が製作した旨を明記してくだされば、連絡なしでも結構です。

チキ 6000 にはかなりのバリエーションが存在するため、一部テクスチャの改変を容認します。Texture フォルダ内、tiki6000.png 及び 6050.png 他の車番テクスチャは再現の範疇でしたら、改変して頂いて構いません。

<Specal Thanks>

- ・秀霞氏 - 自動連結器をモデリングしていただきました。
- ・EDDY 氏 - 枕木及び自連のテクスチャ素材を提供していただきました。

※当説明書内での'前側'とは、対向列車とした際の進行方向側を表します。

2020/8/6 kyu-roku(@kyurokugouyon)

おまけ

<他列車ファイル記述例>

・車体+各差分

[structure]
Key = tiki6000
Distance = x
Span = 10.45
Z = 0

・前位台車

[structure]
key=TR63F
Distance = x
Span = 1.75
Z = 0.88

・後位台車

[structure]
key=TR63F
Distance = x+10.45
Span = 1.75
Z = 0.88

x には適宜数値を入れ、+~の数値は計算してから記述してください。

<編成例>

・定尺 25m レール輸送

2 両で 1 組となり 25m のレールを運びます。1 両が締結装置有、もう 1 両が締結装置無という組み合わせになります。

2019/4/27 伊予小松工臨 DE10 1139+并 6055-6050(締結)+并 6336-6236(締結)

・検査入場等

検査入場等で工場まで回送される場合、締結装置やレールササエ、柵柱を全て取り外した状態で回送されることが多いです。

※当説明書内での'前側'とは、対向列車とした際の進行方向側を表します。

2020/8/6 kyu-roku(@kyurokugouyon)